

- ① ^{ぶん}文を^よ読みながら「た・ち・つ・て・と」に○(まる)をつけましょう。

にほんのまんがかのごとうげこよはるさんは、たいしょうじだいをぶたいに、かまどたんじろうがおにになってしまったいもうとのねずこをにんげんにもどすためにおにとたたかうものがたりのきめつのやいばをえがいています。

ごとうげこよはるさんは、ちいさいときからえをえがくことががてでした。えがいたえをひとからわられるのがいやで、ひとにみせるのをためらうこともありました。

こうこうせいのおきに、はじめてじぶんでまんがをえがこうとしましたが、どうしていいかわからずになやんだじきもあったようです。

- ② それぞれの^{かな}仮名の^{かず}数を^{かぞ}数えて、^{すうじ}数字を^か書きましょう。

た	ち	つ	て	と
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

- ③ ^{なに}何について^か書かれた^{ぶん}文でしたか？^{おし}教えてください。



..... 折り線

【子供向け】文章 - ひらがな版：仮名拾い (かなひろい) 課題プリント その7 - た行編

答え ② た：14 ち：1 つ+っ：1+3 て：5 と：11

③ 鬼滅の刃について書かれた文。など